

黒日

〔運歩色葉集久〕黒日 正戊日、二辰、三亥、四巳、五午、六未、七申、八酉、九寅、十卯、十一酉、
歌ニ、戌ヤ、辰、亥巳子ノ午ニ、丑未寅申卯酉皆近日、

〔假名暦略註〕黒日也、受死日といふ、

受死日は年暦に、○如此黒點を記す日にして、俗にいふ黒日也、大惡日なるがゆへに、百事に用べ
からず、唯葬送に此日を用ひて妨なしと心得べし、

〔言繼卿記〕元龜二年十一月二日庚申、平野社務兼興來、社領悉爲武家被落候。○中禁裡へ披露之事賴候由申間、則長橋局へ參申候處、今日黒日之間、明朝可披露之由被申候間、其分申聞返了、

〔松屋筆記〕六十暦に黒日多き年は豊稔、黒日少き年は凶作、

或人の説に、暦に黒日多き年は必豐稔にて、米價卑し、黒日少き年は凶作にて、必米價貴し、黒日は
民間耕作に由ある日にや、御代官を叙せらる、日は必黒日也といへり、さもあることにや、文政
十一子年暦の黒日少くして凶作、米價甚貴く、同十二丑年は黒日多くして、米穀豊なりき、

五離日

〔拾芥抄下諸事吉凶日〕五離日申酉日號之、嫁娶等憚之、

五合日

〔寅卯日號之、吉事用之、〕

〔簞簾内傳三〕五離日

天道地鎮夫妻和合凶

天地離別日

春 甲申乙酉日

日待月待星祭等凶

夏 丙申丁酉日

君臣父子家業請渡凶

土用 戊申己酉日

國家離別日

秋 庚申辛酉日

築山築堤海河渡等凶

冬 壬申癸酉日

嫁娶結婚師且和合養子凶
人民離別日

耕作凶

太可嫌

國調凶

船乘凶

和合凶

〔五行大義〕第八論合○申

凡陰陽相配善惡理均、凶不全凶、吉不獨吉、吉終則凶、凶終則吉、故合不專、合復有離、義就支干、配日